

# キラリ★と光る 飛島キラ通信

第5回

## 学習環境について 話し合う！

基本設計でのワークショップもいよいよ大詰めです。今回のワークショップでは、学習環境について話し合いました。普通教室(CR)・ワークスペース(WS)まわりとメディアセンター(MC)・メディアスペース(MS)についてグループワークをしました。

やはり先生が中心となって具体的な意見がでましたが、地域として、親としてどんな学校で子どもを学ばせたいかという視点での意見もたくさん出ました。

普通教室まわりは学年のまとまりが大事で、様々な学習形態に対応できる田の字型がよいという意見が多く出ました。MCはすぐに行きやすいよう、各階毎に各教室の中央に配置し、MSはグループ毎、あるいは学年毎に廊下上にコーナーとして配置するのがよいというまとめが多かったと思います。

小中の先生たちからも学習環境についての意見を出してもらいますが、地域の意見としてはこのような内容となりました。



### 第5回ワークショップ内容

2007年9月12日 19:00~21:30

参加人数: 35人 場所: 中央公民館2階学習室

19:00 教育委員長挨拶

19:05 前回のおさらい

キラリ通信の内容確認と階構成についてのまとめ

19:20 事務局からの連絡

飛島村のホームページにキラリ通信をのせている

19:25 学習環境を考える

意見: 学年1クラスになる可能性が高い。単学級の場合2学年のまとまり(2+2+3+2)。

少人数学習の効果を考えると2クラスあるとよい。様々なスペースがあると使いやすい。

質問: 学年3クラスになる可能性は無いのか?

無い訳ではないが、近い将来はない。

少人数に対して大きすぎるのはどうか

1人あたりの面積は大きいほうがよい。

子どもたちがどう思うか

子どもたちはすぐに慣れる。新しいほうが喜ぶ。音の問題懸念される。

石樽小学校の先生はどうだったか

年配の先生ほど初め抵抗があったが、今は慣れてきてうまく使うようになっている。

素人が口を出すより先生に任せの方がよい? 地域の意見として、どんな環境で子どもを学ばせたいか考えましょう。

20:00 グループワーク

グループワークの結果発表 20:40~

#### さんまチーム

C・異学年の交流大事 ・2232のまとまりがよい

R・WS南側配置がよい ・発達段階に応じたスペース

M・MC対象学年を限定する ・各教室の中央に配置

S・MC各フロアに1箇所 ・高学年「静」の場

・MSはグループ毎に設置 ・授業以外の知識の場

他・耐火書庫が必要 学校らしいシンボル



#### デスク&チェアチーム

C・少人数、TTを考えると2クラス必要

R・学年のまとまりが大事。教室を出ると広いスペース

・ワークスペースに本、倉庫、たまり場

・班別、グループ別にすぐに移行できる空間

・可動式の間仕切り ・エアコン

M・どの教室からも近い位置、短い時間で移動できる

S・動線は回廊方式 ・どの机も見渡せる教師の位置

・MCにパソコン40台 ・朝読の本 ・読聞かせスペース

・MSに学年に合う本 ・パソコン ・コーナー

他・児童会、生徒会が使えるスペース ・掲示スペース

#### チームよっしゃー

C・学年のまとまりを自由に使える、自由な区分け

R・教材を置く場所 ・すぐ調べられる聞ける

・利用形態が簡単に変更できる ・職員室と連絡

・近くにトイレ ・床暖房 ・風、光、緑、テラス

M・コンパクトな動線 ・すぐ調べられる

S・MCパソコン中心に ・セキュリティ ・使いたくなる

・MS各教室の近く ・畳スペース ・掲示

#### 安倍さんさようならチーム

C・教室を多く、教員も多く(TTの効果を考えて)

R・パート別、考え別等で周りを気にせず活動する場

・真ん中の壁を可動にして1クラス、2クラスに対応

・WS子どもはすぐ慣れる。広すぎることは無い

・各学年に倉庫 ・教室を視聴覚室化 ・座るコーナー

・各グループ4 3 2で雰囲気を変える

・仕上に木 ・教室とWSの天井の高さ変え集中力

M・外部に出られる教室 担当教科の研究コーナー

S・動線はわかか ・学校中がギャラリー

・1階と2階にMCが必要 ・職員室の近く

他・大型スクリーン、プロジェクター、専門書が必要

・地域の話題に特化したMC ・プレゼンコーナー

21:30 次回のテーマ「生活環境を考える」(予習編)

次回ワークショップ: 9月26日19:00~

